



CONTENTS

- 1 特集: 旧海軍兵学校
・東京江田島ファン倶楽部会員: 松味利紀さん
- 6 寺本水産の「奈佐美牡蠣(なさびがき)」
・寺本水産代表: 寺本龍二さん
- 7 江田島焼の「沖山工房」
・陶芸家: 沖山 努さん
- 8 江田島★BASE
・江田島共済不動産株式会社代表: 中川敬大さん
- 9 ETAJIMA GOURMET — グルメ情報 —
・江田島オリーブファクトリー
・エッタ・ジャズ・カフェ
・ポークアンドチキン江田島・地鶏キッチン
- 10 ETAJIMA NEWS
・島々の祭典「アイランダー2016」に出展します
・「江田島ファンネット」新体制で更新中 他

「東京江田島ファン倶楽部」の 会員募集!!

- 入会資格:
江田島市にゆかりのある方や、
関心がある方ならどなたでも
ご入会いただけます。
- 会費: 無料です。
- 特典: 会報誌「ETTO (えっ
と)」最新号を、年1回ご自宅へ送付いたします。
- 総会: 東京・銀座の「ひろしまブランドショッ
プTAU(たう)」内のイタリアンレストランで、
年1回開催いたします。情報交換や交流の場
として、お気軽にご参加ください。

※東京近辺にお住まいの方に向けたファンクラブで
すが、どなたでも入会可能です。

詳しくは…

東京江田島ファン倶楽部 会報

ETTO [えっと]

Vol. 2 特集: 旧海軍兵学校

2016年11月発行

発行・編集: 江田島市役所 企画振興課
「東京江田島ファン倶楽部」事務局
〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地
Tel: 0823-43-1630 Fax: 0823-57-4433
Mail: kikaku@city.etajima.hiroshima.jp

●デザイン、ディレクション、記事作成、撮影
SHOTO DESIGN 正藤由美子
Mail: shotodesign@gmail.com

●記事作成
GO江田島委員会
http://www.go-etajima.net/

※掲載内容および表記は2016年11月発行当時のもの
です。何卒ご了承ください。 300-2020-10

こんにちは! ETTOです!

「東京江田島ファン倶楽部」は、東京近辺に
お住まいの方々が広島県江田島市(えたじま
し)を応援し、魅力や活力を創造する情報交
換のネットワーク作りと交流を目的として、
2013年3月に設立されました。

会報の命名は、ETAJIMAとTOKYOを繋
ぐという想いを込めて、二つの地名の最初
の二文字ずつを使い、「ETTO(えっと)」とし
ました。また広島弁で“えっと”は“たくさん”
という意味を持つ言葉です。

ETTO第2号の特集は旧海軍兵学校です。
2009年10月から2年間赴任されていた会員
の松味利紀さんが、久しぶりに校内のあちら
こちらを歩きながら江田島市での想い出話
などを語ってくださいました。

今後とも“ETTO”が皆様にとって江田島
市を起点とした温かいご縁を“えっと(たく
さん)”紡いでいくものになりますように…。

江田島市役所 企画振興課
「東京江田島ファン倶楽部」ETTO編集部

ETAJIMA ← → TOKYO

ETTO

[えっと]

Vol.

2

“えっと”は広島で“たくさん”
という意味を持つ方言です

特集

旧海軍兵学校

東京江田島ファン倶楽部



「東京江田島ファン倶楽部」会員

松味利紀さん

Toshinori Matsumi

1966年12月、京都府京都市生まれ。1988年、漁師になり遠洋マグロ漁船に乗る。1990年3月、水産大学校(山口県下関市)卒業。同年、海上自衛隊に奉職。1991年3月、海上自衛隊幹部候補生学校(広島県江田島市)卒業。2008年3月、練習艦あざざり第17代艦長に就任。2009年10月、海上自衛隊第1術科学校(広島県江田島市)の総務課長に就任し2年間過ごす。2014年3月、護衛艦みょうこう(イージス艦)第11代艦長に就任。2015年4月、「ニコニコ超会議」海上自衛隊トークショーに出演し、イージス艦や艦長の役割などについて語る。2016年11月現在、第14護衛隊司令。

「遠洋マグロ

漁船に乗ったのは、国内だけでなく広く世界中を見たくなったからなんです」

— 22歳の漁師時代

「漁師の皆さんの安心を守れるような人間になりたい」

— 漁師からの転職を考えた時代

「艦長だって間違える

ことがある。いつも言葉に出して皆から意見してもらえる人間でありたい」

— 護衛艦みょうこう(イージス艦)の艦長時代

特集

旧海軍兵学校

「東京江田島ファン倶楽部」会員の松味利紀さんが、久しぶりに校内に帰ってきた日。

「総短艇*が発動され、いち早く到着しようと廊下の窓から飛び降りてすごく怒られました」

— 海上自衛隊幹部候補生時代の訓練



*総短艇(そうたんてい):短艇(カッターボート)の操法向上を図り、即応体勢の心構えを養う予告の無い分隊対抗競技。開始の号令がかかると、学生は全ての作業を中断し、1秒でも早く短艇へ向かいます。



「古鷹山の山頂まで20分で駆け上がりましたよ」

— 海上自衛隊幹部候補生時代の訓練

- 1:表棧橋の根元付近に、短艇(たんでい)がずらりと吊り下げられています。
- 2:戦艦「陸奥(むつ)」の主砲(主砲第4砲塔)と、同型艦長門の主砲砲弾。
- 3:サイパン島で戦後放置されていたものが引き揚げられ、2014年に寄贈されたばかりの「安式四十口径六吋砲」。
- 4:駆逐艦「雪風」の主砲。戦史に残る海戦には全て参加し、無傷で生還しています。
- 5:戦艦「大和」の砲弾と特殊潜航艇。
- 6:階段の手すりにも錨をあしらった海軍のマークが残されています。
- 7:第1術科学校学生館と、幹部候補生学校庁舎の後ろには、候補生、生徒が山頂まで一気に駆け上がるなど厳しい訓練が行われる「古鷹山(ふるたかやま)」が見えています。
- 8:校内に植えられている「同期の桜」。
- 9:白亜の教育参考館。勝海舟の書や、特攻隊員の遺書などが展示されています。





「大講堂が一番想い入れ深い場所ですね。第1術科学校生徒部の最後の

卒業式の司会も務めたんです」

—海上自衛隊第1術科学校の総務課長時代
※2011年、生徒部廃止。(海上自衛隊生徒56年の歴史に幕)



幹部候補生学校庁舎の床材には1909年(明治42年)で廃艦となった初代コルベット艦「金剛」の甲板をはがしたものが使用されているそうです。当時のリベット止めの痕も残っています。

幹部候補生学校庁舎(通称:赤レンガ)と、右の建物は石造りの大講堂

- 1:1893年(明治26年)にできた幹部候補生学校庁舎(旧海軍兵学校生徒館)の玄関。
- 2、3、6、7:NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲(主演:本木雅弘さん)」のロケ(2009年)では、赤レンガの回廊や大講堂などが使われました。
- 4:服装の乱れを整えるための大きな鏡があります。
- 5:趣のある幹部候補生学校庁舎内の階段。
- 6、7:大講堂の内装には“知”の象徴としてのフクロウの浮き彫り細工や、舵輪の形をしたシャンデリアなどがあり、細部まで見応えがあります。
- 8:御影石で造られた大講堂の外観。1917年(大正6年)に完成し、約100年の歴史。中に入る際には必ず脱帽します。
- 9:ほば吹き抜ける造りで、音の反響が美しく厳かな気持ちになります。現在も入校式や卒業式などの儀式で使用されており、約2000名の収容が可能です。
- 10:床の石畳に1名がきちんと立つことで、きれいに整列ができるそう。石畳の厚みは15センチだとか!



旧海軍兵学校の入口には「海上自衛隊、幹部候補生学校、第1術科学校、江田島警務分遣隊」のプレートがあります。
無料見学ツアー*、お土産の購入、「レストラン江田島」や「さくら」(海軍カレーや穴子飯、日替わりランチなど)でのお食事も、まずはここで受付をします。入場は無料です。

*世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「行ってよかった無料観光スポット2014年」では、旧海軍兵学校の無料見学ツアーが3位に選ばれています。

旧海軍兵学校の見学時間

平日	土曜日・日曜日・祝日
10:30~12:00	10:00~11:30
13:00~14:30	11:00~12:30
15:00~16:30	13:00~14:30
	15:00~16:30

※ 予約不要(20名様以上の場合はお電話ください)
※ 第2、第4火曜日は「教育参考館」が休館のため、館内の見学はできません。かわりに表棧橋および戦艦陸奥の主砲を間近で見学することができます。

●海上自衛隊第1術科学校 総務課広報係
〒737-2195 広島県江田島市江田島町国有無番地
Tel: 0823-42-1211(代表)
<http://www.mod.go.jp/msdf/onemss/>

「江田島のみんなはとにかく人がいい!」

松味さんが海上自衛隊第1術科学校の総務課長に就任されていた2010年は、協賛金不足により“サマーフェスタ江田島”の花火大会が休止となり、寂しい思いをされました。

「来年は実現できれば有り難い」という強い思いから、同じ熱い気持ちを持つ江田島市の様々な方とお酒を酌み交わしながら幾度もじっくりと腹を割って話し、アイ

デアを出し合いました。そして単なる知り合いから濃いお付き合いのできる職種の垣根を越えた“えたじま仲間”となっていたのだそうです。

結果として江田島湾海上花火大会実行委員会が花火基金として寄付を募り、復活させることに成功しました。しかし、2011年は東日本大震災があった年。「花火基金は義援金に」との声もありましたが

「花火大会の復活と、仲間たちとの出会いが一番の思い出です」

「花火大会は単なるお祭り騒ぎではなく、ご先祖様への送り火。それとこれとは話が違う」という意見でまとまり、“サマーフェスタ江田島2011”の夜に花火があがりました。それまで共に奮闘してきた仲間たちと喜び合える特別な一日となりました。

松味さんは今でもたびたび江田島市を訪れ、仲間たちと集まり楽しい時間を過ごしていってほしいと願っています。



2011年夏の復活の花火
多くの方が花火基金以外でも義援金を寄付され、東北物産販売などの応援や、東日本大震災のパネル展のブースも作られました。

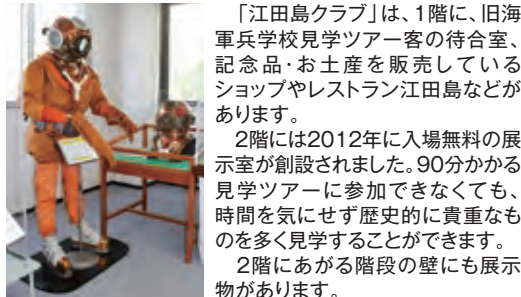


左:お祭り大好き男、松味さんと「えたじまの愉快的仲間たち」ご一行は広島市内の居酒屋、カラオケ、ワインバーに繰り出しました。

下:松味さんが江田島市に帰って来られ、校内を歩きまわったその夜は、近所の「梅や」さんでカラオケ三昧!十八番は「立役武多(たちねぶた)」。松味さんが歌い出すと、「ヤッテマレー!ヤッテマレー!」と皆で大盛り上がりとなります。



2012年に創設された「江田島クラブ」2階の海上自衛隊歴史ゾーン



「江田島クラブ」は、1階に、旧海軍兵学校見学ツアー客の待合室、記念品・お土産を販売しているショップやレストラン江田島などがあります。

2階には2012年に入場無料の展示室が創設されました。90分かかる見学ツアーに参加できなくても、時間を気にせず歴史的に貴重なものを多く見学することができます。

2階にあがる階段の壁にも展示物があります。

陸・海・空の敬礼の角度の違いを実演!



「陸、空は、こういうふうには肘を横に張出して(肘と肩が水平位置)行いますが、海は狭い艦内でも敬礼できるよう、45度の角度で実施するんですよ」と、第1術科学校学生館をバックに、実演しながら教えてくださる松味さん。

「海友舎」(旧江田島海軍下士卒集会所)



●海友舎(かいゆうしゃ) [江田島市で初の国の有形文化財(建造物)として登録。築110年の木造洋館。]
〒737-2122 広島県江田島市江田島町中央2丁目7-10
<http://www.kaiyousya.com>
現在は民間が所有し、「ぐるぐる海友舎プロジェクト」によって管理されています。

校内めぐりの後、近所の「ふるさと交流館」1階の喫茶にて



「防衛記念章」について教えてください!

左胸の、水上艦艇き章の下にあるカラフルな防衛記念章は、「グリコのおまけ」と呼ばれているのだとか。自衛官としての活動に功績があった場合や、賞状を授与された隊員、特定の勤務地や職位での勤務、永年勤続者などに付与されるそうです。さらに、同じ記念章が2回付与されると、記念章の中央に5ミリ角の銀色の桜がひとつ付き、3回付与されると金色の桜がひとつ、4回付与されると銀色の桜がふたつ、5回以上付与されると金色の桜がふたつつくそうです。

「ふるさと交流館」2階の展示ホールを見学する松味さん



●ふるさと交流館

[観光案内所、喫茶・休憩スペース、特産品販売、資料展示、サイクリングターミナル]
〒737-2122
広島県江田島市江田島町中央1丁目3-10
Tel: 0823-42-4871 (江田島市観光協会)
定休日: 月曜日(祝日のときは翌日)、年末年始
営業時間: 9:00~17:00
※無料のお茶の他、有料でホットコーヒーや紅茶、各種ドリンクもお楽しみいただけます。

旧海軍兵学校時代に、生徒の休養の場として存在した「生徒倶楽部(民間)」の面影を残した建物。2階には無料で見学できる貴重な資料の展示ホールがあり、ホールの中には世界の主要都市の方位が刻み込まれた方位盤なども設置されています。サイクリング中のご休憩や、旧海軍兵学校の見学の時間調整、次の観光の検討にも便利な交流館です。

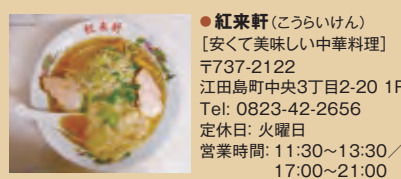
世界中の寄港地の記念切手と消印が押された「遠洋航海記念色紙」



遠洋航海は海上自衛隊の幹部候補生学校卒業生の訓練の一環として毎年行われ、2016年で60回目とのこと。「梅や」さんの常連客だった幹部候補生は、毎年5カ月ほどの航海の帰国後、寄港地全ての記念切手と消印が押された「遠洋航海記念色紙」をプレゼント。「卒業までの辛かった訓練時代の話も聞いているだけに、無事に戻ってきて報告してくれるのは、その成長ぶりも含め本当に嬉しいことなんです」と、ママが笑顔で語ってくださいました。

●梅や [1954年に開店の、女性も気軽に楽しめる小民家風スナック]
〒737-2122 広島県江田島市江田島町中央2丁目2-10
Tel: 0823-42-0167
定休日: 日曜日・祝日
営業時間: 19:30~24:00

老舗のお店で腹ごしらえはいかが?



●いまいの大石餅

[手作りのお餅と和菓子]
〒737-2122
江田島町中央1丁目2-6
Tel: 0823-42-0177
定休日: 日曜日
※2019年11月閉店

●紅来軒(こうらいけん)

[安くて美味しい中華料理]
〒737-2122
江田島町中央3丁目2-20 1F
Tel: 0823-42-2656
定休日: 火曜日
営業時間: 11:30~13:30 / 17:00~21:00

突撃! Interview ちょっとエエですか?

江田島市に行った気分?の不思議なコーナー。バリバリ広島弁での取材をお届けします。



美能漁港の沖合いに浮かぶ大奈佐美(おおなさび)島。左上は宮島、速くみえるのは廿日市市。

取材: GO江田島委員会

—— えたまブランドのなるとる牡蠣(かき)って、夏牡蠣の「ひとつぶくん」以外だと寺本さんのところだけじゃけど、どしてですかね?

寺本: ワシもよう知らんけど、商工会からの案内に応募したら、おかげさんで認定されとったわ。よそが応募してないだけじゃろう(笑)

—— またまた〜(笑)じゃけど、牡蠣には自信あり、でしょ?

寺本: そりゃあ、他の牡蠣生産者さんからも旨いって言われるけんの。

—— ほうなんですか!何か秘密でもあるですかね?

寺本: あじろがエェんじゃ。

—— あじろ??? そりゃなんですか?

寺本: 筏の場所よの〜。牡蠣の漁場がエェんじゃ。奈佐美(なさび) * ってわかるか?

—— ええ。知とりますよ。

寺本: 奈佐美の海域っちゅうのが、ばち深うなっとって潮が速いんよ。じゃけん元気な牡蠣が育つんよ。



“旨さにこだわり牡蠣一筋”
寺本水産 三代目

寺本龍二代表
Ryuji Teramoto

—— なるほどですわ〜。その元気な奈佐美の牡蠣、ワシが食べても違いはわかりますかねえ〜。

寺本: いや〜、島の牡蠣はもともと旨いけえ、牡蠣通じゃないとわからんかも〜(笑)ひとつ言えるのは、2月から花見頃までの牡蠣は味が濃くなってまたひと味がうでえ〜。

—— そりゃ是非いただいてみにやいけん。その頃じゃつたら、いくらワシでも違いがわかるじゃろ〜(笑)

※能美島と宮島の間にある大奈佐美(おおなさび)島のこと

● ● ● ● ●

初対面なのに気さくに取材に応じてくれた寺本水産の寺本龍二社長。

「あじろがエェけん旨い牡蠣ができる」とのお話でしたが、牡蠣の養殖は自然が相手です。漁場はもちろんですが、熟練の経験と勘、そして手間をかけてこそその自慢の牡蠣だと思いました。

「食べてみんさい、江田島の牡蠣。やっぱりち旨いけえ。」

“私たちが丹精込めて育てた牡蠣をお届けします。”



牡蠣を吊るすためにクレーンが装備されています。



強く育てるための牡蠣の抑制。島のあちこちで見る光景。



ネットでも買える
「えたまブランド」認定の逸品!
人気の
「寺本水産の奈佐美牡蠣」



※写真はイメージです

【特選】
かき むきみ牡蠣500gと殻つき牡蠣10個
4,730円(税込)

●有限会社寺本水産

〒737-2314
広島県江田島市沖美町美能999-1
Tel: 0120-164-371 Fax: 0823-47-0152
<http://teramotosuisan.jp>
※商品は、寺本水産のホームページから購入することができます。



身が大きくミネラルも豊富、
甘みがあって濃厚かつミルキー!



photo&text: Yumiko Shoto

沖山工房には江田島焼をはじめ、様々な種類の作品が展示・販売されています。江田島産牡蠣殻の灰100%釉薬で焼成した食器と花瓶は、その制作過程を変えているそうです。食器では釉薬を霧吹きで吹き付け、料理が美味しそうに見える色合いや、使い勝手の良さを求め、花瓶では牡蠣殻をそのまま焼き付けする製法で、殻の溶けきっていない文様を楽しめます。



江田島焼用の牡蠣殻は、拾いやすい江田島町切串の港から採ってくるそうです。まずは灰になるまで牡蠣殻を焼きます。牡蠣殻100%釉薬になる粉は、長石などと混ぜた他の釉薬とは違い、白くてとてもきめ細かなパウダー状。さらさらとした感触です。



立派なガス窯が奥の部屋にありました。今どきはガスで作品を焼けるから、ご自宅の1階に置けるんですね！本日の窯の温度は752度。徐々に冷めていく途中なのだそうです。厚い扉の中はどうなっているのか、次回ぜひ見学させてください！



1:奥の作業場で説明を受けながら、様々なユニークエピソードも伺えました。2:江田島産牡蠣殻100%釉薬で作られたお皿には、沖山さん手書きの山本五十六の名言が、旧海軍兵学校のお土産ショップにも、有名な「五省」をはじめ数種類の皿が置かれています。3:ぎゅっしりと並んだ商品梱包用の段ボール。発送時は沖山さん自ら梱包を行い「2階から落としても壊れないですよ」と宣言されており、今までクレームはゼロだそうです。安心して送っていただけますね！



自分にしかできないもの。

【広島県経営革新計画承認企業】 江田島焼の「沖山工房」代表

陶芸家 沖山 努さん

取材:畑河内真・花野泰司・正藤由美子(ETTO編集部)、飯村久美子さん(東京江田島ファン倶楽部会員)



え た し ま

江田島市でしか作れないもの。

新たに出会う人々とのご縁は周りの皆さんが持ってきてくださると感謝しながら、コツコツとたゆまず制作にはげむ陶芸家の沖山努さん。郷土愛が深く、「江田島焼」への想いや制作秘話にはじまり、多くの貴重な話題で楽しく盛り上がりました！



沖山 努 Tsutomu Okiyama
【陶芸家】
1965年江田島町生まれ。京都在住の陶芸作家、勝尾青龍洞先生の元で学び、1991年に帰郷し開業。愛妻家であり、二人の娘を溺愛している良き家庭人でもある。

くて役に立つ陶芸教室”を目標に、学校や福祉施設、婚活目的の陶芸教室、一般企業への出張セミナーなどを開催されています。一人で行う作品制作とは対極にあり、老若男女様々な方々と出会えるので、一番の気分転換になり、飲み会やゴルフよりもずっと楽しいとのこと。

「引きこもりの生徒さんたちを集めた陶芸教室では何か文字を入れてもらった作品を焼くんですが、皆、希望に満ちた言葉を書くんです。心の底では前向きな気持ちであふれているんですね」当時中学三年だった生徒はその後学校へ行き出し、春には高校にも受かり、教師のほうが生徒の行動力にびっくりされたという。婚活陶芸教室では楽しい話術で約4割をカップルにし、企業の営業マンはその話術を学び営業成績が上がる、という福の神のような沖山さん。

「僕自身が心から楽しんでやっていますし、皆さん優しいですし、いつも江田島の方々に支えられているおかげなんです」と笑顔で語ってくださいました。



沖山工房は1階にショップと作業場、2階が居住用と、その外からは窯元と想像できない普通の一軒家。1階の奥には制作用の釉薬や道具類、大きな焼き窯が配置されています。作業場の勝手口のドアには「パパ大好き」と描かれたポスターや二人の娘さんからの手紙が、作業中いつでも目に入るようにと大切に貼られていました。



牡蠣殻100%釉薬の入ったバケツ。混ぜる前は沈殿し分離していますが、かき混ぜるととろみのある白い液体になります。他の釉薬と違い、触ると手が荒れてしまうし、配合バランスに少しでも狂いがあると今でも失敗してしまうのだそう。器に霧吹きで釉薬を吹き付ける作業では、数回ほどで目詰まりするため、100円ショップで購入した霧吹きで充分とのこと。

はじめまして!「江田島★BASE」こと江田島共済不動産株式会社の中川です!



ようこそ! 新会員のの中川さん!

東京生まれの奥様、美雪さんと、熊本生まれの中川敬大さんが出会ったのはスノボツアーだとか、大都会よりも島に住みたかったとおっしゃる奥様は、海がきれいな江田島市が大好きなのだそう。看板息子の鉄心くんはどんどんイケメンに成長中!

海上自衛隊第1術科学校の生徒部42期生として4年間に在籍された中川敬大(たかひろ)さん。「中学校を卒業し、全国から集った同期が同じ釜の飯を食べ、切磋琢磨し貴重な時間を共有した経験は、人生の大きな財産となりました」ただ、当時下宿などを詳しく紹介する不動産屋が見つからず、一番の楽しみである外出時間を有意義に過ごすための選択肢があまりなく、苦労したことを今でも覚えているそうです。

「待ちに待った外出時、生徒の皆さんに少しでも充実した時間

を過ごしていただきたい」その想いから入隊10年後、新たに国立広島大学経済学部で学び、東京で不動産業を修行し、独立後に江田島市へご夫婦で移住されました。

2015年に生まれた息子の鉄心くんは、なんとパパと同じ誕生日。現在は家族三人で仲良く過ごされています。「不動産のご質問などありましたらお気軽にお問い合わせください!」とのこと。今後とも頑張ってくださいね!

●江田島共済不動産株式会社
江田島市江田島町中央2-7-4

Tel: 0823-31-5950
Fax: 0823-31-5951

電話受付: 10:00~21:00
http://etajima-k.com



●江田島焼の「沖山工房」
江田島市江田島町宮ノ原3-14-1
Tel: 0823-42-4309
Fax: 0823-42-1872
Mail: tutomu-okiyama@nifty.com
営業日・営業時間: 要お問い合わせ
http://etajimayaki.com

ご購入方法

公式サイトでは通販システムを導入しております、お手数をおかけいたします。
上記に記載された電話、Fax、メールのいずれからでも24時間お気軽にお問い合わせください。お客様のメール宛にご希望に近い作品写真を添付してご覧いただき、ご検討後ご注文くださる方が多いです。
ご入金はお振り込みとなります。壊れないように責任を持って厳重に梱包し、ご希望のご住所にお送りいたします。

沖山 努



陶芸家の沖山さんと「沖山工房」にて談笑。

ETAJIMA GOURMET — グルメ情報 —

広島ローカルのテレビ番組にも登場した話題のお店をご紹介します！

取材：GO江田島委員会

大柿町大君 地元でも話題騒然！

江田島市の新名所 『江田島オリーブファクトリー』



●江田島オリーブファクトリー
〒737-2212 広島県江田島市大柿町大君862-3
Tel: 0823-57-5656
定休日：月曜日 ※月曜日が祝日の場合は営業、翌日休業
営業時間：11:00～18:00
<http://www.hiroshima-olive.jp/index.php/ja/factory>

潮風に吹かれながら美味しいイタリアンが味わえるレストランが、2016年夏に大柿町にオープン。地元食材を使ったパスタやピッツァと、江田島産オリーブオイルの組み合わせが美味しいと評判です。併設された搾油工場が見学できる他、オリーブオイルや地元特産品の販売コーナーもあります。島の新しい産業として期待されるオリーブの魅力が伝わる新スポットです！



「江田島ちりめんじゃこ」と水菜のピッツァ。

「江田島産ポークと地元産ボン酢」のしそ梅スパゲティ。

オリーブオイルをお好みで。(右はピリ辛のペペロンオイル)



店内ではオリーブオイルの販売の他、江田島の特産品の販売コーナーも。

地中海を思わせるテラス席からの景色。

沖美町是長 他県だけでなく、海外からのお客さんも！

自由で楽しい空間 『エッタ・ジャズ・カフェ』



宮島に沈む夕日。テラス席からの絶景。

夕日の美しい沖美町で2014年から営業しているカフェレストラン。心洗われる美しい景色とご機嫌な音楽で島時間が満喫できます。音楽を楽しむもよし、景色に見とれるのもよし、多国籍な料理を味わうのもよし。仲間とワイワイ過ごしても、うたた寝をしても構わない自由な空間です。フランクで愉快なマスターも魅力のひとつ。



開放的なガーデンスタイルの店内。不定期でライブも行なわれる。

●ETTA JAZZ CAFE

〒737-2313 広島県江田島市沖美町是長1751-3
Tel: 080-3872-8569
不定休(雨天、冬期は休業期間あり)
※電話・FACEBOOKなどで営業日・時間を要確認
平日営業：11:30～20:00 土・日営業：10:00～20:00
<https://www.facebook.com/etta.jazz.cafe/>

楽器・レコード・音響機材とマスターのコレクションが並ぶ。

江田島町切串 料理人も認める味と品質！

新鮮地鶏は旨さ格別 『ポークアンドチキン江田島・地鶏キッチン』

クマン岳の麓の自然の中、丁寧に育てられた鶏や豚。全国の飲食店からも引き合いがある逸品です。江田島町にある生産者直営の『地鶏キッチン』では、その日にしめた新鮮な地鶏や豚を思う存分味わえます。「江田島一黒シャモの炭火烧」、「江田島ポークの炭焼ステーキ」、三種の鶏ガラを贅沢に使ったスープが自慢の「鶏ぶるラーメン」は絶品。



鶏を愛するマスターが、絶妙の焼き加減、塩加減で食べさせてくれる炭火烧。



ラーメンは、あっさり「鶏ぶるラーメン」、こってり「鶏ぶる白湯ラーメン」の2種類。



オープンキッチンで目の前で調理してくれる。



自然の中、放し飼いで元気に育つ鶏たち。

●ポークアンドチキン江田島

〒737-2111 広島県江田島市江田島町切串三丁目10-21
Tel: 0823-43-0567

【地鶏キッチン】

土曜日・日曜日・祝日の限定営業：要予約
営業時間：12:00～14:00
<http://p-and-c-etajima.com/>

「地鶏キッチン」の営業日にはのぼりが立つ。

ETAJIMA NEWS

入場無料

島々の祭典「アイランダー2016」に今年も出展します！

今年は僕もボランティアで参加します。皆さんのお越しをお待ちしています！
(会員の高須賀収さん)



全国各地の約206の島が参加し、14,000人の来場で大盛況だった2015年に引き続き、国土交通省・公益財団法人日本離島センターが主催の、「全国の島々が集まる祭典：アイランダー2016」に、江田島市は今年も「江田島・能美島」として出展します。



このイベントは島に生活する人と、島に興味がある人の交流を目的とするものです。出展ブースでは、移住案内や観光に関する情報提供、特産品の販売などを行って江田島市のPRをします。

昨年度は、たくさんの方がブースにお越しなり「観光などで訪れたい」という声を多数いただきました。

年に一度のこの機会に、皆様お誘い合わせの上げび池袋サンシャインシティまで足をお運びください！



池袋サンシャインシティで開催された「アイランダー2015」の「江田島市(江田島、能美島)」ブース。

全国の島々が集まる祭典

アイランダー2016

2016年11月26日(土) & 27日(日)

10:00～18:00 ※27日は17:00まで

場所：池袋サンシャインシティ 文化会館3F 展示ホールC

東京都豊島区東池袋3丁目1番1号

1954年の江田島の「旧海軍兵学校」は華やかな時代だった!?



旧海軍兵学校(現海上自衛隊第1術科学校周辺)の進駐軍占領期の構内配置図。

米軍や英連邦軍が駐留していた1954年当時、エンジニアとして勤務していた正藤繁(しょうとうしげる)さんが入手した構内配置図。教会が二か所、ボウリング場、スケート場、ビアホールやシアターなどがあり、あたかも外国のようだったと言われており、歴史を知る貴重な手掛かりとなっています。※旧海軍兵学校近くの「ふるさと交流館」(Tel: 0823-42-4871)2階の展示ホールでもご覧いただけます。

東京江田島ファン倶楽部 会報「ETTO(えっと)」編集部より

編集部のオススメ ①



p4でもご紹介していますが、毎年7月末から8月初旬頃には旧海軍兵学校にて「サマーフェスタ」が開催され、夜には江田島湾海上花火大会が行われます。旧海軍兵学校でのお祭りや花火、海水浴やカヌー体験、温泉、BBQなど夏の江田島市を堪能しにご家族、ご友人、カップルでぜひ遊びに来てください！

編集部(S)のオススメ ②

旧海軍兵学校から徒歩3分ほどのビルの2階に、2015年10月にオープンした「和酒肴Bar ナナセ」。季節限定のお酒はもちろん、様々な銘酒をこまめに仕入れているお酒に造詣の深い店主の亀本さん。広島県産の日本酒から各地の多様なアルコール類まで、それぞれに合うつまみとともに提供してくれます。全国の日本酒から三種選ぶ飲み比べセットは800円！Wi-Fiフリーなのでお一人様でカウンター席でまったりと、また、テーブル席でグループでも楽しめる新店舗です。



江田島町中央3丁目1-6
Tel: 0823-43-1234
定休日：月曜日(時々日曜日)
営業時間：18:00～24:00

編集部(S)のイチ押しおつまみは、「ほろうちチーズのいぶり」がっせいです！

【編集後記】

増ページでお届けした「ETTO」2号は、いかがだったでしょうか。会員の方を含め、たくさんの方の多大なご協力により、普通は撮れない場所での貴重な写真などが多数掲載できています。皆さんの知らなかった江田島市の、新たな発見になれば嬉しいです。引き続き、東京江田島ファン倶楽部で、大切なご縁を繋いでいきましょう。(ETTO編集長：畑河内 真)

【次号予告】

2017年6月発行予定の「ETTO」3号では、夏の行楽特集：恵み多き島、江田島市。をお送りいたします。次号制作に向けて、ご意見ご要望をお聞かせください。夏休みには江田島湾海上花火大会の日程に合わせて江田島市へ！(ETTO編集部：正藤由美子)

※会報「ETTO」2号制作にご協力いただきました。Special Thanks: 北辰江里様、高須賀収様、加藤雅己様、山本幸宏様、ふるさと交流館様、正藤繁様、出口和寿様、亀本洋二様、昇竜と愉快な仲間たち様。

会報「ETTO」、そして「東京江田島ファン倶楽部」をより良いものにしていくために、郵送、ファックス、メールにてご意見、ご感想、ご要望をお寄せください！

宛先

江田島市役所 企画振興課「東京江田島ファン倶楽部」事務局 ※2016年8月より新庁舎に移転し、住所などが変更になりました。
〒737-2297 広島県江田島市大柿町大原505番地 Fax: 0823-57-4433 Mail: kikaku@city.etajima.hiroshima.jp